

LMI世界宣教会はリーベンゼラ・ミッション・インターナショナル(LMI)に加盟している日本の宣教団体です。

New York Report

ニューヨーク周辺邦人宣教・宣教師
笹川雅弘・由利子

子どもクリスマス会

12月11日(日)午後3時から子どもクリスマス会が行われました。計27人の子どもたちが参加し、楽しいときが持たれました。メッセージのときには、ヨハネ3章16節から、クリスマスの本当の意味について語られました。昨年のクリスマス会、今年の夏のバイブルキャンプから続いて参加する子どもたちも与えられていて感謝です。子どもたちとご家族が今後も教会とのつながりを深めていくことができるよう願っています。



27人の子どもたちが参加した「子どもクリスマス会」

「英語でバイブルスタディ」

英語で聖書を学ぶEnglish Bible Studyは、今まで教えてくださっていた元牧師夫人の健康上の理由でしばらくお休みしていましたが、笹川牧師が独自の教材で近々始める予定です。

【祈りの課題】

- 記録的なインフレの中、経済的必要性が満たされ、宣教活動が守られよう。
- 90歳を超える教会員2人に対する適切なケアができるように。
- 一時帰国中のMKさんのお母様のケアと信仰が守られるように。
- 宣教師夫妻の健康が守られるように。

秋のゴスペルショップとクリスマスコンサート



祝福されたコンサート終了後の全体写真(12/17)

10月6日(木)から毎週木曜日、大人35名、子ども37名が練習を積んできました。練習の前には毎回、大人、子ども一緒に曲の歌詞の説明という形で福音をお伝えしました。コンサート直前に残念ながら何名かの方が体調不良のため出演できませんでしたが、総勢約70人が神を賛美する歌声を響かせました。終了直後から出演者、コンサートを見た方、双方より、次の春のワークショップを待ち望む声が聞かれました。

求道者の状況

昨年7月に受洗されたSKさんの奥様、MKさんが、お父様をがんで亡くされ、現在、お母様のケアのため日本に滞在しておられます。一度信仰決心へ導かれていますので、信仰が守られるよう祈っています。また、クリスチャンの奥様のご主人で、まだ信仰告白へと至っていない二人の礼拝出席者がおられます。

連絡先：LMJ世界宣教会 熊久保公義
電話：045-931-3312
Mail: kimikuma1126@gmail.com
HP: <https://nymissionsasakawa.wixsite.com/support>



高橋みづほ：笹川宣教師派遣教会・等々力教会伝道師

聖徒たちを支える奉仕の恵み



2019年より、笹川宣教師を支える会のメンバーとしてご奉仕させていただいています。具体的には、支援教会や支援者の名簿管理や支える会のニュースレターの編集・発行、HPの管理などを行っています。奉仕の多くはパソコンに向かう事務のため、淡々と作業しています。また支援者の方々にお会いする機会がほとんどなく、ニュースレターをお届けする相手の顔が見えない状態のため、本当に支援者の心に届くものになっているのか、時々不安になります。しかし、ニュースレターを送付した後のタイミングで多くの教会や個人が献金してくださったという報告を聞く時には、本当にうれしくなります。ニュースレターが諸教会に、お一人一人に、届き、用いられていると実感することができます。また、データ版を早くHPにアップしてくださいというメールをいただいたり、LMJ会計の方から、振込用紙に書かれた献金者の

温かいメッセージを紹介していただいたり、支える会事務局宛てにクリスマスカードが届けられたりする時もうれしく感じます。支援者の皆さんとつながっていることを感じられる時です。

パウロは、マケドニアの教会が、エルサレムの教会の信徒たちを支えようと献金を献げたことを、次のように説明しました。「私は証しします。彼らは自ら進んで、力に応じて、また力以上に献げ、聖徒たちを支える奉仕の恵みにあずかりたいと、大変な熱意をもって私たちに懇願しました。」(Ⅱコリント8:3、4)「恵みにあずかり」は、原文では「カリス(恵み)とコイノニア(加わること・交わり)のため」と書かれています。献げる行為とは、単に一方的に支援を与えるということではなく、奉仕の輪に加わえられ、逆に恵みを受けること、大変喜ばしいことだ、と理解されていたのです。

支える会の一人一人が献げる奉仕も、支援者の皆さんが献げる献金も、これらが献げられるとき、そこに交わりが生まれ、私たちは共に恵みにあずかるというイメージが与えられました。この恵みを覚えながら、今後も奉仕していきたいと思います。宣教師と支援者の架け橋となるよう祈りつつ。



神の備えを信じ「不安の巣」打破

次のドイツのことわざは、マルティン・ルターに由来しています。「“不安”と“心配”の鳥が頭の上を飛び交う事実は変えられません。でも、髪に巣を作るのは、防ぐことができます。」

この文章を書いている時点では、2022年はまだ終わっていません。いろいろなグローバルな危機は、今年もリーベンゼラ宣教師の世界中での宣教活動に大きな影響を及ぼしました。そして、2023年になっても、そ

れはあまり変わらないようです。国によっては、ビザの申請がかなり難しくなっているところもあります。入国要件は今でもすぐに変更されることがあります。そして、物価の上昇により、宣教地への航空券だけでなく、特に食料品やエネルギーの価格が高くなっています(国によっては50%以上の値上げも!)。同時に、世界中の多くの支援者の寛容さに驚かされています。本当に厳しい経済状況の中でも、忠実に支えてくださって誠に感謝いたします。日本では、近年、特に奥多摩福音の家で経験することができました。神様は我らに必要なものをすべて備えてくださるのです。

しかし、このような良い経験にもかかわらず、明日や新年のことを考えると、どうしても心配し、不安を感じる人が多いものです。ルター

は、心配や不安は完全に避けることはできない、と言っています。まるで頭の上を旋回する鳥のようです。しかし、鳥が私たちの髪に巣を作るのを防ぐことはできます。だから、心配事に引きずられるようなことがあってはならないのです。愛する天のお父様は私たちのことを気にかけてくださり、必要なものをすべて備えてくださいます。今年にも、父なる神様の備えを期待し、信頼していきたいと思います。



アンドレアス・グロース
LMI-Jチームリーダー

神にとって不可能なことは 何もありません

バングラデシュ医療宣教師
近藤 恵

12月に入って間もなく、外科レジデント時代の先輩から電話がありました。急にご自身の入院の必要があり、年末年始前後のクリニックの外来をやってもらえないかという話でした。そのクリニックは、内科系の患者さん主体、1日に少なくとも60人、多いと80人来ます。私は内科は診ることはあっても専門外、しかもこの14年はバングラデシュで診療をしています。日本で使っている薬はどんどん変わっています。無理でしょと思いつつ、「ちょっと考えさせてください」といったん電話を切りました。外来は大学の医局に頼めば、誰か派遣してくれるはず。それでも私に電話をかけてきてくれたのは、何か意味があることなのでしょう。考え、祈り、引き受ける必要があるのだらうと思ひ、翌日承諾の電話をしました。

まだ3週間ほど時間があつたので、薬の学びをしつつ過ごしました。それにしても、どう考えてもそれだけの数をこなせるとは思えません。1週間前の日曜日の午後、クリニックに連れて行ってもらい、説明してもらいました。そうするとますます不安はつります。その日のデボーション冊子アパルームのみことばは、「神にとって不可能なことは何もありません」(ルカ1:37)でした。御使いがマリアに言ったことばです。「そうは仰っても、無理だと思ふんですけど」と思いつつ、主が何をなさるのか期待しようと思ひました。

その後、そんな私の頭に浮かんだのは、定年前に早々とリタイアを決め込み、今は医者としては働いていないレジデント同期のドクターのこと。「彼に手伝ってもら

えばいいんじゃないかなあ。1人分のお給料を2人で分けることにして。」でも自分勝手に助け手を引き込むことは、慎重さが必要です。次の日「神様、これがみこころに反することであれば、そうならないようにしてください」と祈りつつ、彼に電話をしました。最初渋っていたのですが、「インフルエンザの予防接種の問診と薬のみの人の処方と、イボの液体窒素焼灼だけだったらどう？」という言葉に彼は快く同意してくれました。そして先輩に電話をし、承諾をもらいました。

いよいよ約束の日が来ました。最初の日はぎこちなく、本来夜7時に終わるはずの外来は8時を過ぎました。患者さん総数は90人を超えていました。2日目、看護師さんたちとも慣れ、約80人の患者さんを7時過ぎには、診終わることができました。3日目は午前だけで、患者さんの数も少なく30人程度、楽勝です。この午後、東京に帰る電車の中で主に感謝しました。「あなたの仰ることは本当でしたね。」



派遣教会(自治医大前キリスト教会)の敬老祝福式に出席できない高齢教会員のために「写真付きメッセージ」を作成した際の近藤宣教師

【祈りの課題】

- ビザが与えられていませんが、みこころがなるように。
- ジョイランクーラ・クリスチャンホスピタルのドクター・ルーシーとドクター・タボシュのために。
- 母と姉の救いのために。

【近藤恵医療宣教師を支える会】

〒329-0403 栃木県下野市医大前3-7-1

☎0285-44-7564 自治医大前キリスト教会気付

e-mail:meg0_02007@yahoo.co.jp

【現地】 Garo Baptist Convention
Christian Health Project
Joyramkura.p.o. Haluaghat 2260
Mymensingh, BANGLADESH

LMJ 総会案内

「いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。」

(ピリピ人への手紙4章4節[聖書 新改訳2017])

主の御名を心からあがめて賛美いたします。

2022年は、続くコロナ禍に加え、ロシアによるウクライナ侵攻が開始され、それにより世界に大きな変化がもたらされました。一日も早く解決が与えられるように、また難民となった人々に慰めがあり、支援の働きが守られるよう祈ります。

また、LMJにおきましても急激な円安とインフレが進んだことから、少なからぬ影響を受けた年でした。しかし真実な主がすべての必要を備え、宣教師の働きをそのご計画の中で祝福し、支え用いてくださいました。主の御名を讃え、感謝します。また皆様のお祈りと尊い献げ物に心から感謝いたします。

この一年与えられた恵みを数え、新たな年度も主のなさることに祈り期待する時として、下記のように総

会を開催いたします。どなたでもご参加いただけます。ZOOMも併用して行われますので参加ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

記

日時:2023年2月18日 (土)

午後1時30分～

場所:JECAかもい聖書教会
(オンライン併用)

議題:2022年度活動報告

2022年度決算

2023年度活動案、予算案など



「STOP WAR HELP UKRAINE (戦争やめて ウクライナを助けて)」の手書きのプラカードを持つウクライナの子ども=LMI提供

理事会便り

★毎月第一金曜日行われている「LMJ祈禱会」には是非ご参加ください！お問い合わせは事務局まで。

★近藤恵医療宣教師のビザ取得のために、御心が示されるよう続けてお祈りください。日本に於ける働きが用いられますように。ジョイランクーラ・クリスチャン・ホスピタルの必要のためにも続けてお祈りください。同刻の祈りにもご参加ください。

★笹川雅弘・由利子宣教師夫妻の働

きのために。ゴスペルの働き等が祝福され感謝。円安、インフレが続く中、必要が続いて満たされるように。健康が支えられ、すべての働きが祝福されますように。たんぼほミニストリーの祝福のため、人的・経済的な必要のためにも続けてお祈りください。

★各宣教師を送り出すそれぞれの支える会、また理事会の働きが、宣教師を正しくサポートするために用いられますように。宣教師志願者が起こされた時の十分な備え。

★JOMAなどの他団体との働きが祝福

されますように。宣教フェスティバルは祝福のうちに終えることができ感謝。

★世界宣教への思いがある方、ご連絡ください。ともに祈りましょう。

【祈り】「イエス・キリストは、昨日も今日も、とこしえに変わることがありません。」変わらないあなたに信頼して、変わらないあなたの福音を宣べ伝えます。

(田辺証夫・LMI世界宣教会理事長)

LMI世界宣教会

(LM-J 本部& ☎226-0003 横浜市緑区鴨居2-29-4(かもい聖書教会気付 ☎&Fax 045-931-3312)

会計事務局) e-mail: LMJ@outlook.jp

→ 献金送金の際、「ゆうちょ銀行通帳」から電信振替(ATM)をご利用されると振替用紙より割安で送金できます。

(LMI) <http://www.liebezell.org/>(ドイツ語), www.liebenzell.ca/(英語) 郵便振替 00110-1-91993「LMI世界宣教会」

【常任理事】田辺証夫(理事長 lmijapan.tanabe@gmail.com) 熊久保公義(副理事長&書記) 村上正道(会計) アンドレアス・グロース(LMI担当) 小倉 泉(Bg) 立石聖美 【協力理事】木島正敏 兵藤陽子 立石尚志 小堀日出春(Voice編集)

【監事】榎田信 【会計事務】安藤真里 佐藤かおり